

島間の風

「元気登校！ 満足下校！ ひとみ輝く島間っ子」

児童数34名 教職員数11名

発行責任者 校長 南 健

子供の「自信」を育む

校長 南 健

四季折々に咲く花は、子供に自然の感動を与え、豊かな心を育む力ともなります。今、学校の花壇には、アリッサム、キンセンカ、ノースポール、ハボタン、ゴデチア、フリージア等の苗が植えられ、これから新年に向け、きっときれいな花が咲きほこることだろうと楽しみです。



さて、早いもので、令和4年も残り少なくなりました。学校も無事2学期を終えることができそうで嬉しく思います。コロナ禍ではありましたが、子供たちは今学期もいろいろな行事を経験しました。そして、行事のたびに様々な姿を見せ、成長しました。



23日は終業式、2学期の通知表が子供たちに渡されます。

「良かった、悪かった」とだけ見るのではなく、どの教科のどんな学力で子供の力が発揮されたのか、どんな成果があがったのかなど、子供の努力の様子をご確認ください。「目標としてきた力がついたか」「思いやりの心が育っているか」など、子供の

姿をよく見つめ、成長したところはほめ、もう少しのところは励まし、さらに確かな力と心を育ててやりたいものです。

子供の心を育て、力を伸ばすために大切なこと、それは「自信」をつけてやることです。子供たち一人ひとりには、頑張ったことやできるようになったことがいろいろあります。子供の姿をよく見つめ、どんな小さな良さも、ほめて認めてやることで「自信」につなげていきたいものです。「自信」は次への意欲はもちろん、さらなる力の発揮にもつながります。



今学期も多方面で保護者の方々や地域の皆様の御支援・御協力をいただきありがとうございました。子供たち一人ひとりが成長して、無事に2学期を終えることができますことに心から感謝申し上げます。

子供たちが冬休みも事故等に気をつけ、かけがえのない命を大切に、3学期も元気に登校する姿を願っています。よいお年をお迎えください。

地域学校協働活動～地域と連携した教育活動の推進～

地域に開かれた教育課程の実現のために、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指していきます。そのために、学校と地域が共通の目標を持ち、より多くの地域の方々が参画できる活動のマネジメントを推進していきたいと考えています。地域の方々の御理解と御協力をよろしくお願い致します。

先輩授業 林家種平さんありがとう！

12月7日(水)に、落語家 林家種平(瀬戸口次男)さんによる、母校島間小で初の落語会を開催することができました。子ども時代から落語家になるまでの話やプロの落語、手ぬぐいと扇子一つでいろいろな場面を作り出す技の実演を絶えない笑いの中で繰り広げてくれました。

子どもたちは、落語のおもしろさを自分たちの大先輩から学ぶことができました。



力強い走り～校内持久走大会～

12月10日(土)の土曜授業で持久走大会を実施しました。当日は小雨もばらつく中でしたが、子どもたちは、全力で日頃の練習の成果を出してくれました。「自己記録を縮める」「目標タイムを設定して一定のスピードで走る」この2つの中から、自分で目標を設定し、日々努力して練習してきました。

保護者、地域の方の応援に見守られ、走り終えた子どもたちの笑顔には、それぞれの充実感がありました。



また一つ子どもたちが成長してくれたことを嬉しく思います。

5年高木美夜さん 新記録おめでとう！

ロケットプロジェクト5・6年生

5・6年生は、総合的な学習の時間「ロケットプロジェクト」で宇宙や宇宙開発(ロケット、人工衛星等)について課題を設定し、学習を進めています。その中で、プログラミング学習も取り入れ、マイクロビットという教材で角度計測装置とカウントダウン装置をプログラミングしました。そして、12/13

(火)にペットボトルロケット打ち上げに挑戦しました。目標地点を決め、ロケットを着陸させる実験です。



発射角度と空気圧のデータを取りながら目標地点に到達させました。見事、着陸が成功したとき、大きな歓声が湧き起こりました。



郷土料理教室

11月24日(木)に県食生活改善推進員の福田さん(平山:西之町)、岩元さん(田尾)を講師に招き、郷土料理教室を行いました。カボチャ団子と芋の天ぷらを調理しました。2年ぶりの料理教室ということもあり、推進員のお二人もとても喜んでいらっしかったです。今後も地域の方から学ぶ機会を増やしていければと思います。



人権教室3・4年生

12月6日(火)に人権擁護委員の上山幸夫さんを講師にお招きして人権教室を実施しました。DVDを視聴した後に、子どもたちはそれぞれ考えたことを話し合い、それを基に人権についてお話していただきました。

子どもたちの人権に対する意識を高めることができました。ありがとうございました。



鹿児島ユナイテッドFCからのクリスマスプレゼント



サッカーJ3リーグで活躍中(今期第3位)の鹿児島ユナイテッドFCから、サッカーボール5個をプレゼントしていただきました。『1ゴール!夢をお届けプロジェクト』という企画(得点数によって市町と学校をダーツで抽選し、当選した学校にサッカーボールをプレゼント)で、見事島間小が当選!得点した中原秀人選手のサインと一緒にサッカーボールが届きました。

子どもたちは大喜びで、昼休みにボールを蹴っています。体育の授業でも大切にしたいと思います。



そばを食べる場面を児童と演じる林家種平さん
 南種子町の島間小学校



南種子出身
 林家種平さん

南種子町島間出身の落語家林家種平さん
 (元)日本名瀬戸口次郎君が、4年ぶりの帰郷に合わせ、母校の島間小学校で初めて寄席を開いた。随所に「落語」を盛り込む伝統の話芸に見違ふ4人は興味津々。地域住民も招かれ、世代を超えて笑いが広がった。

本物落語世代超え笑い

母校・島間小で初の寄席



細しみやすさで知られる種平さん。早口言葉が特徴的な古典落語「吾国夢」を取り上げながら、児童との掛け合いを披露した。創作落語の「お忘れ物承り所」では、駅にある遺失物取扱所での珍妙なやり取りを表現。何人もの役柄を

声色やしぐさを変えて演じたり、子どもたちを驚かせた。幕あけでは、小道具として欠かさない扇子と手ぬぐいの使い方も伝授した。6年の柴こころさんは「話だけで場面が想像でき、いつの間にか引き込まれてしまふ。目の前で見ると落語の面白さを実感できた」と笑顔だった。
 種平さんは旧南種子高校を卒業後、就職先の大阪で落語に出合い、1969年に初代林家重三郎さんに弟子入りした。85年に真打ちに昇進し、活躍を続ける。近頃の鹿嶋業山利隆さん(元)は「種平さんの笑いをいつも見て応援していた。同世代だけに学校の昔話には懐かしさを感じた」と話した。
 母校での寄席は7日があった。大きな拍手を送られた種平さんには「子どもたちが笑ってくれたのがうれしい。日本の文化に熱れ、良さを分かってもらえれば」と嬉しい。
 (菊方隆)

12.7 林家種平さんお話会



たぐましくひとみかや島間っ子
 YouTube 島間っ子①
 YouTube 島間っ子②
 鹿児島ユナイテッドFC KAGOSHIMA UNITED FC
 1ゴール!夢をお届けプロジェクト
 南種子町立島間小学校
 2022. 12. 10

南日本新聞 R5. 12. 15



12.1 前田税理士さんを招いての租税教室 (5・6年生)



12.10 校内持久走大会

